

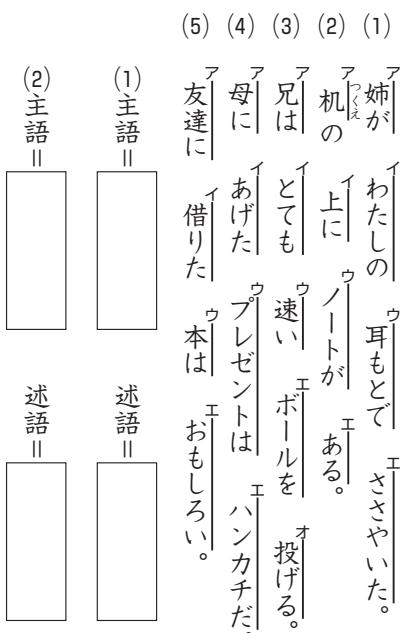
中学につながる「言葉のきまり」

小学校では「言葉のきまり」として勉強していた「主語・述語」などの言葉のルール（文法）を、中学校ではさらにくわしく学習していくようになります。内容が細かくなっていますが、基本になるのは小学校で学習してきた「言葉のきまり」です。今回の学習でおさらいをしながら、中学校での学習につなげていきましょう。

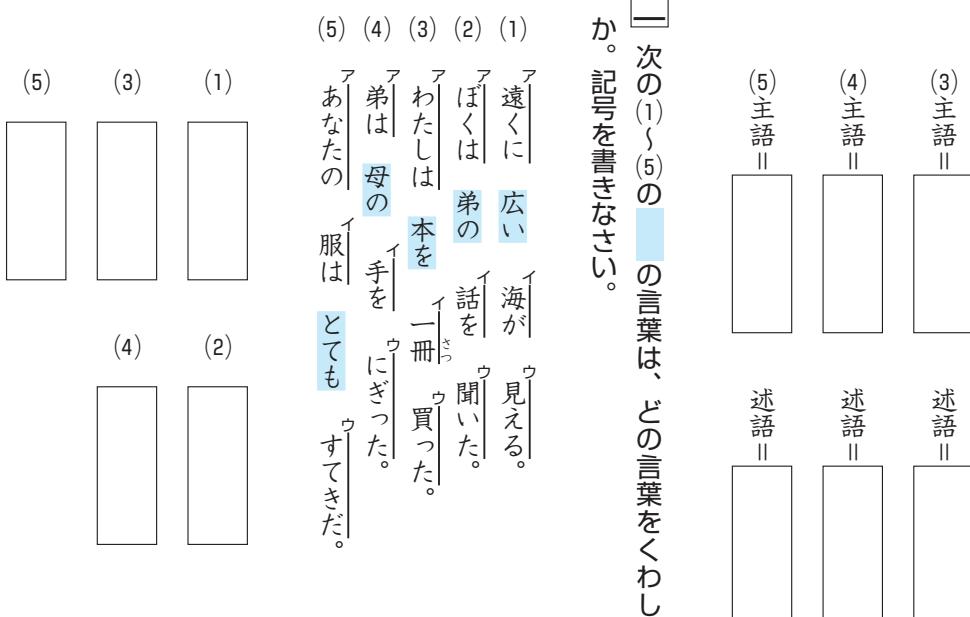
【一】主語・述語・くわしくする言葉（修飾語）

理解度をチェック！

一 次の(1)～(5)の文の主語と述語はどれですか。それぞれ記号を書きなさい。



二 次の(1)～(5)の青い言葉は、どの言葉をくわしくしていますか。記号を書きなさい。



〔三〕次の(1)・(2)の文の **■** の部分をくわしくする言葉（修飾語）を

()の中から一つ選んで書きなさい。

(1) 昨日、**□**みかんを食べました。
(すっぱい・たくさん・いくつか)

(2) ぼくは、**□**子犬を飼っています。
(家で・うさぎと・茶色い)

(2) (1)

解説



こうした問題では、述語から考えてていきます。(1)であれば、文末の「やさやいた」が述語です。「やさやいた」のは「姉」ですね。したがって、主語は「姉が」になります。

小学校の復習 ↗ 主語と述語 ↗

主語と述語は、文の組み立ての中心となる言葉で、主語と述語だけを取り出しても文の意味が通じます。

主語…文の中で、「何が」「何は」にあたる言葉。

述語…文の中で、「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある（ない）」にあたる言葉。

また、述語の種類によって、文の型を次の四種類に分けることができます。

- 何が (は) → どうする [例] 雨が しとしと 降る。
- 何が (は) → どんなだ [例] 今日は とても 暑い。
- 何が (は) → 何だ [例] あれは 本物の 化石だ。
- 何が (は) → ある (ない)

[例]

むこうに ベンチが ある。

ふつうの文では、述語は末尾にあります。したがって、主語と述語を見つけるときは、まず文末に注目して述語を見つけ、それから、その述語に対応する主語を探すとよいでしよう。

▼▼ちょっと難しい問題に挑戦！

次の文から主語と述語をぬき出しなさい。

- ① ぼくの言葉を友だちさえ信じなかつた。
② 駅には母も来る。

↓主語が「が」や「は」でない文です。まず述語を見つけ、その述語に対応する主語を考えれば、①主語＝友だちさえ、述語＝信じなかつた、②主語＝母も、述語＝来る、とわかります。「ぼくの」「駅には」を主語と早とちりしないように注意しましょう。

- 二 (1)の「広い」は「海が」をくわしくしています。「どんな『海』なのか」を表していますね。(3)のように、少しはなれたところにある言葉をくわしくしているときもあるので注意が必要です。「本を」は、「何を『買った』のか」を表しています。(5)の「とても」は、「どのくらい『すてき』なのか」という「程度」を表しています。
- 三 読んで意味がとおるだけでなく、「 」の部分をくわしくする言葉を選ぶことに注意が必要です。(1)の には、「みかん」について、「どんな『みかん』なのか」を表す「すっぱい」が入ります。「たくさん」や「いくつか」を入れても文の意味はどうりますが、これらは「みかん」ではなく、「食べました」という動作をくわしくする言葉です。(2)も同様に考えます。

小学校の復習 くわしくする言葉

文の基本は主語と述語ですが、そこにくわしく説明する言葉をつけ加えることで、文の意味がよりわかりやすくなります。

- 【例】ぼくは走った。

↓ぼくは元気に走った。(どのように走ったか。)
↓ぼくは校庭を走った。(どこを走ったか。)
↓ぼくは今朝走った。(いつ走ったか。)

▼▼中学校ではこう習う！

「くわしく説明する言葉」を修飾語しゅうしよくご、一方の「くわしく説明される言葉」を被修飾語ひしゅうしよくごといいます。「修飾」は「かざる」という意味であり、「被」は「くざれる」という意味です。

右の【例】では、「元気に」「校庭を」「今朝」が修飾語で、「走った」が被修飾語です。

「元気に走った」
「校庭を走った」

「今朝走った」

が、それぞれ組みになつていて、続けて読むと意味がとおります。修飾語が被修飾語よりも前にあることも確認しておきましょう。

解答

| | | | | |
|---|--|----------------------------|--------------------------|------------------|
| 一 | (1) 主語 = ア (3) 主語 = ア (5) 主語 = ウ | 述語 = エ 述語 = オ 述語 = エ | (2) 主語 = ウ (4) 主語 = ウ | 述語 = エ 述語 = エ |
| 二 | (1) イ (2) イ (2) 茶色い | (3) ウ (4) イ (5) ウ | | |
| 三 | (1) すつぱい | | | |

かけはしポイント

小学校で学習した「主語」「述語」「修飾語」が完全に理解できているといつ前提で、中学校ではさらに一步進んだ「文の組み立て」を学習します。今回ののような問題は、全問正解できるようにしておきましょう。